

りんくる地域福祉新聞

《第24号》
石狩市社会福祉協議会
発行

この壁新聞は、地域福祉推進を目指す「新・りんくるプラン」に基づき発行しています

石狩市の様々な地域福祉の話題を取り上げて提供する「りんくる地域福祉新聞」第24号です。いつも地域の会館等への掲示にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。これからも地域の話題をたくさんお届けしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ふれあいサロンで地域のつながりを!

日本全国で少子高齢化が進む中、団塊の世代の方が75歳を迎える2025年に向けて、国では高齢や障がいになっても、住み慣れた地域で暮らすことができるように医療・介護・住まい介護予防・生活支援が一体的に提供できるような仕組みづくりが今後一層大切となってきます。

石狩市内では、各サロン団体や高齢者クラブ、地区社協、町内会などさまざまなかたちで住民主体の地域活動がすでに行われています。今回、その一部にお邪魔した様子をご紹介します。



●平成29年1月28日(土)
花川南地区社協、
花川南すみれ会共催
「サロンほほえみ」

昨年の秋から花川美南会館で始まった「サロンほほえみ」の活動。この日は3月のひなまつりに向けて、参加者みななで折り紙のひな人形を作りしました。難しいところはお互いに教えたり、教わったりしながら卓上サイズのかわいいひな人形が完成しました。



折り紙のあとは、お正月から会館に飾っていた鏡餅で役員さんがおしるこを作り、みんなで美味しくいただきました。

●平成29年2月18日(土)
「第80回ふれあいサロン親船東」

ふれあいサロン親船東は、親船会館で月1回開催されています。始まった当初は参加者が20名程でしたが、現在では40名以上の方が参加しており、男性の方や近隣の介護施設の利用者の方も増えてきました。平成22年からの活動が地域に根付き、このサロンを通して顔見知りになった方も多く、親船東地区の恒例行事となっています。



この日は、いつもの昼食会のあと、次年度に向けた打ち合わせが行われました。昼食会の当番や食事後の催し物などについて話し合われ、さまざまな意見が出されていきました。



●平成29年3月1日(水)
楽々レクリエーション杏の会
「伝承行事 おひなさま」

楽々レクリエーション杏の会は、二ノ宮あかしや会館で週1回開催されています。毎回、独自の体操や合唱、本の音読などさまざまな内容で実施しています。「認知症にならないように元気であること」を目標に毎回参加者が元気よく参加されています。



また、季節に合わせた行事なども実施しており、この日はひな祭り行事で参加者がおひなさまの衣装に着替え記念撮影や手作りのちらし寿司を食べて楽しみました。



地域福祉懇談会開催中

1月より市内6地区で地域福祉懇談会を開催しています。地区社協や町内会、民生委員・児童委員、高齢者クラブ、ボランティア団体の方などをはじめ、大勢の地域住民の方に参加いただいております。この懇談会は、社会福祉協議会が地域福祉事業を進めていくにあたり、住民の方から率直な意見をいただける場として大変貴重な機会となっております。



りんくるちゃんのつづき

【2月15日】折り紙講座番外編です☆講座開始前に職員さん向けに先生から折り方について説明を受けている所です。1人苦戦している職員さんもいマシタ(笑)わかりますか?



りんくるちゃんツイッター

新聞に関するご意見・お問い合わせは、石狩市社会福祉協議会まで!

(Tel 72-8184)

この壁新聞は、赤い羽根共同募金の助成を受けて作成しています。

